

(参考) 2030年の労働力を確保するために推進すべき主な対策

区分		目指すべき方向性	主な対策
量的対策	女性	多様なライフステージにあった働き方ができる環境づくりや、これまでの固定概念にとられない業務の創出	女性の家庭における負担軽減に向けた男性の長時間労働是正や意識改革、仕事と育児の両立支援の充実、多様なライフステージに対応できる業務創出、女性就業者が少ない業種における女性が働ける業務創出、労働時間の抑制につながる制度の見直し
	高齢者	高齢者の継続雇用や再就職を促進する環境整備	高齢者の働き方に対する多様なニーズへの対応、定年退職した従業員の就労の流動性を高める取組の促進、健康や新たな就労への不安を払しょくする仕組み、労働に見合った賃金体系の見直し、生きがい就労の見直し
	外国人	人手不足が深刻な業種における外国人労働者の活用	外国人材の受入拡大を図るための適正処遇での外国人材の雇用、職場における外国人材との円滑な意思疎通、外国人材の住宅確保や日常生活のフォローアップなど外国人材の受入環境の整備、行政や関連団体との連携体制の構築
	若者	働きやすい環境整備や適切な人材育成、新卒者やUIJターン者の地場企業への就職を促す環境整備	若者の就業意識の変化を踏まえた有休を取得しやすい環境整備、スキルアップにつながる人材育成、正社員転換制度等の非正規社員から正社員へのキャリアアップの仕組みづくり、新卒者やUIJターン者の就職を促すための地域との連携、教育機関による「仕事」に対する意識改革
	離職者	やむを得ない理由により働きたいが働けていない人に対する支援の充実	離職者の再雇用制度の整備、求職者の希望に沿った柔軟な就労条件の設定、リカレント教育など学び直しの充実、企業間の人材に関する情報共有による離職者のスムーズな再就職支援
	地域ぐるみの人材確保・活用	効果的な人材活用により人材不足を補完、地域ぐるみの人材確保	業種や地域によって異なる労働力需要の季節格差を利用した人材融通、企業等の連携による地域ぐるみの人材確保・育成
質的対策	機械化・ICT化	ICT・AI等の積極的な導入により、少ない人材での業務の効率化	専門家を活用した機械化・ICT化の可能性検討、ICTツールが有効活用される仕組みづくり、ICT化等の効果最大化に向けた取引先等と連携したシステム構築、ICT化等にかかる助成制度の周知徹底
	働きやすい環境整備	本来業務に注力できる環境づくりと、一人ひとりのライフスタイルに合った働き方ができる環境づくり	専門家を活用した業務見直し、アウトソーシングやクラウドソーシング等の活用による本来業務に注力できる環境づくり、固定概念にとられないテレワークの推進、自己実現や能力向上に資する副業・複業推進、人材配置の最適化
	人材育成	成長が見込まれるICT分野を担う人材、マルチスキル人材等の育成	業務マニュアルの整備や従業員のスキル見える化によるマルチスキル人材の育成、企業連携によるICT専門家育成とその人材の地域におけるシェアリング、AI人材に特化した人材育成拠点の整備